

福生 FUSSA

市議会だより

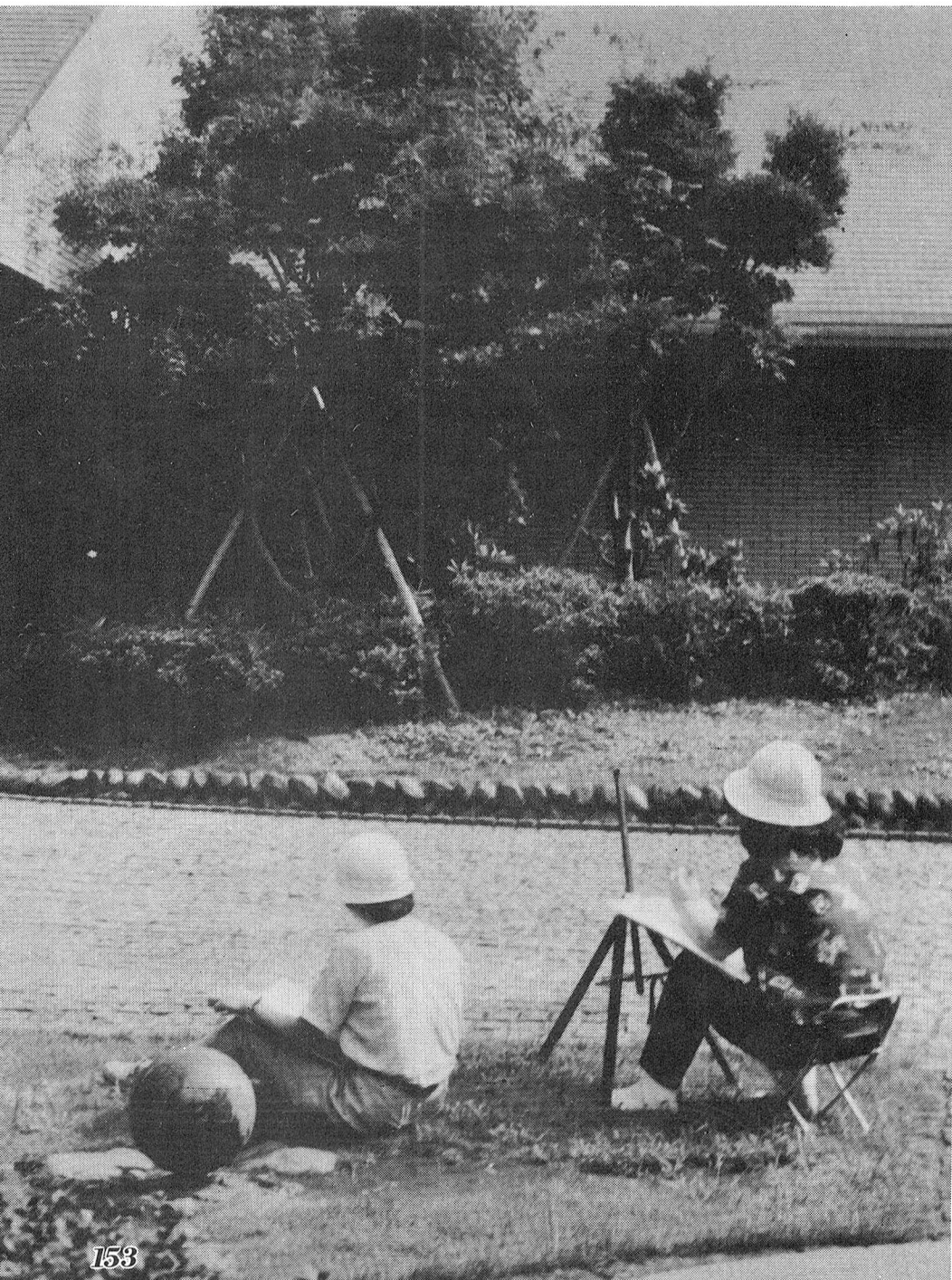
第 71 号

61 年 10 月 20 日

発行 福生市議会

東京都福生市本町 5 番地
電話 0425 (51) 1 5 1 1 (代表)

文化祭を前に
絵筆をふるう
錦秋の日



(中央図書館前庭で)

老人福祉手当など

増額改正される

10月分から平均37%のアップ

今回の定例会第2日目に3種類の福祉手当条例の改正案が上程され、厚生委員会に付託して審査されました。この結果、12日の本会議に報告がなされ原案のとおり可決されました。

児童育成手当、老人福祉手当、重度心身障害者福祉手当条例の一部改正が九月十二日の本会議で可決され、十月分から平均約三七%増額されることになりました。

今回の改正は、東京都の各種福祉手当の改正が行われたのを受けて、市の条例を改正したもので、特に寝たきり老人への福祉手当は従来一律一万七千五百円でしたが、今後は年齢及び所得に応じて支給額が定められることになりました。

また、他の手当はそれぞれ五百円増額されました。

この三種類の手当は、全額が東京都の負担で児童育成手当六千五百三十七万二千円、老人福祉手当二千二百二十三万五千円、重度心身障害者福祉手当二千九百十万三千円が都の負担金として支出されます。

今回改正された福祉手当

手当の名称	対象者	改正後の額 月	アップ額 円
児童育成手当	育成手当 次の児童を扶養している方 ○父又は母が離婚、死亡、生死不明 ○父又は母に1年以上遺棄、拘禁されている ○母が婚姻によらないで出生 ○父が重度の障害を有する	8,500	500
	障害手当 心身に重度の障害のある児童 ○身障2級以上 ○精薄愛の手帳3度以上 ○脳性マヒ ○進行性筋萎縮症	10,500	500
老人福祉手当	6カ月以上ねたきり状態の65才以上の老人で ○70才以上で介護を要する ○65~69才で介護を要する 所得制限以下 所得制限以上 ○重度心身障害者手当受給者	35,000	17,500
		30,000	12,500
		20,000	2,500
		20,000	2,500
重度心身障害者福祉手当	障害者手当対象者と同じ	10,500	500

昭和六十一年第三回定例会が九月二日から十二日まで開かれました。

この定例会には、各種福祉関係手当の引き上げによる条例の改正を初め、昭和六十一年度福生市一般会計補正予算や、福生第三市営住宅建築工事請負契約等の議案が提出されました。

第一日目 会期を十一日間と定めた後、さきに通告のあった五人の議員から、福祉や建設行政について、約五時間にわたり一般質問がなされ、市長の考え方を聞きました。

第二日目 市長から、すでに専決処分をした昭和六十一年度福生市一般会計補正予算第三号の報告を含む、十二議案と陳情七件が提案され、提案理由の説明がなされた後、専決処分の報告他一件を除いた議案等が、担当委員会に付託されました。

第三日目 担当委員会に付託された議案等の審査報告が、各委員長からありました。

この中で、「非核・平和福生市宣言」制定に関

第三回定例会

する陳情と福生市非核都市宣言を求める陳情については、討論がなされ、賛成少数で不採択となりました。

また、市長から新たに八議案と請願及び陳情一件が追加提案され、福生第三市営住宅建築工事請負契約他一件が同意、可決され、その他八件の議案等が担当委員会へ付託されました。

委員会で付託された議案の中で、昭和六十年年度福生市一般会計決算認定につきましては、決算審査特別委員会を設け審査することになり、委員長に斉藤 異議員、副委員長に石川泰一議員が選任されました。

審議日程

日	審議事項
9月2日	本会議
3日	本会議
4日	建設委員会
5日	総務委員会
10日	厚生委員会
12日	議会運営委員会 本会議

駅周辺の駐輪場 対策を早急に

福生駅周辺も羽村方面の国鉄用地を確保して整備したが、利用効果が上がっておらず残念である。

質問 牛浜町 東口に、駐輪場がで利用者からも感謝されている。西口をはじめ福生駅や拝島駅周辺の混雑も甚だしく、この解消のための対策について伺いたい。

市長 駅周辺における交通安全上、また美観上からも残念な状況にあって、心配しているところである。市の駐輪場計画に基ついで進めているが、必要な土地の確保ができない実状である。



これでは市民も迷惑です

あるが、効果を上げるためにも東口に用地を求め、駐輪場としての条例も制定する等徹底を図ることが必要である。それには用地確保が先決と考えている。

しかしそれが困難というジレンマもあり、今後も用地確保のため努力していきたい。

建設部長 毎年課題となる問題であるが、具体的に進んでお

市民会館の

駐車場の増設を

質問 市民会館の駐車場については、昭和五十八年九月に質問をし満三年が経過したが、何んの進展も見受けられない。また、児童の通学道路に違法駐車

質問 わが国でも高齢化社会が急テンポに進み、世界でもトップクラスの長寿国となったことは結構なことだが、先見性ある長期展望に立った社会福祉の最大拠点となるべき総合福祉センターを、早期に建設すべきと

早期建設を

総合福祉センターの

福生駅東口についても用地確保が進まず、公園部分と並行利用して検討したが、面積等から放置自転車を取容しきれないと判断し、新しく用地を確保して解決しなければならぬと考えている。

市長 福生駅東口については、市民会館や野球場等があり、満足するだけの駐車場もなく周辺の方々に迷惑をかけ申しわけなく思っている。現在の駐車場を利用して高層化を考えたが、用途地域の関係で不可能であり、用地確保も思うに任せない状態であるが今後も努力をしていきたい。

一般質問



第3回定例会では
5人の議員が一般
質問を行いました

思うがその考えを聞きたい。

市長 他市を視察する等、担当において調査をしている。現在のところ総合的な社会福祉の中核的拠点施設としての機能を持ったところはないが、すべての市民が生きていきと生活のできるまちづくりを進めるうえで、総合福祉センターは最重要課題と考えており、早期実現に向けて調査研究をしていきたいと思う。

質問 当市では用地が少なく努力しているところであるが、市制二十周年記念として建設することが当を得ており、できるだけ六十五年度完成に向けて努力していきたい。

助役 市長も六十五年度に向けて考えたいとのことであり、民間を含めて意見を聞き、用地の目安がついた後に検討委員会を設けたいと思っており、用地を含め早期に設置できるように努力していきたい。

緊急時の対応に

道路パトロール車を

質問 当市では昭和五十八年に交通安全都市宣言を行っているが、宣言都市にふさわしい対策として住民の意識高揚のため

にも、緊急時の対応のためにも道路パトロール車による巡回を実施する考えはあるか。

市長 道路の整備が進むとそれに伴いさまざまなことで毎日どこかで発生するわけで、道路管理者として迅速に対応すべく、来年度は道路パトロール車にふさわしい車を購入し、活用していきたい。

歩行者の安全上 一層の道路整備を

質問

市道の舗装率は九六・四％とすばらしい実績だが、図書館通りから原ヶ谷戸方向の幹線II—十二号線や幹線II—四号線のわらつけ街道等U字溝の蓋がない所が多い。歩行者の安全面からも早急に対策を講ずるべきだと思うがどうか。

市長 一般市道や通学路の整備を年次計画で進めてきたが、市道は生活道路が中心であり比較的幅員も狭いので、有効利用を図れるよう整備してきた。こうした補修整備は極めて広範囲であり、今後も計画に沿って進めていきたい。

建設部長 御指摘の道路は幅

議会を傍聴

しましゅう

次の定例会は

12月です。

議会は公開制です。

議事録の閲覧は、市立

中央図書館へどうぞ。

号附近ですが、クラシクになっていて通行しにくいわけであるが、警察側とも協議していきたいと思っている。

都市開発地域の

建ぺい率見直しを

質問 区画整理や都市改造が進んでいるが建ぺい率はそのままであり、見直しの時期にきていると思うがどうか。また、第一種住居専用地域でありながら三割と四割とになっているのはどういう理由か。

市長 建ぺい率は土地利用の具体的な規制であって都市計画の基本である。第一種住居専用地域は良好な住環境を保護するための地域であり、建ぺい率をはじめ容積率等が最も厳しく定められている。

現在の用途地域は、新都市計画法の施行に伴い昭和四十八年の指定がベースとなり、五十六年に見直しされたものである。第一種住居専用地域内でも三割とか四割という区分、あるいは路線式による地域指定は既定計画と現況を重視して指定されたものである。

都においては、昭和六十四年を目途に見直しの準備に入ると

議会日誌

7月	8月
1日 福生市制記念式典	1日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第三委員会
9日 三多摩地域廃棄物広域処分組合議会行政視察	4日 三多摩市議会視察来市
10日 全国市議会議長会基地協議会役員会	8日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第一委員会
多摩地区離職対策連絡協議会行政視察	11日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第二委員会
16日 市議会だより編集会議	15日 多摩川上流域下水道事業対策協議会役員会
26日 福生伝染病院組合議会全員協議会	18日 東京都市議会議長会理事會及び8月定例会
30日 北海道恵庭市議会視察来市	19日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第三委

いうことであり、御指摘の点も含め市民のコンセンサスを得て、よりよい地域指定ができるようにしたいと思っている。

建設部長 都市計画上からみると、道路の路線式によって建ぺい率や容積率が決まっており道路をはさんで商業地域や住居専用地域の地域指定がされているので建ぺい率も違っている。

また、路線式として用途地域が指定されているところは幹線道路であり、住居専用地域としての環境を保全する意味で制限が加えられている。

第一種住居専用地域の建ぺい率については、五十六年に都が土地利用の方針を決め五ランクに分けられ、当市は第一種住居専用地域を建ぺい率三〇の容積率六〇とか、四〇の八〇とか決めているが、その時点における土地利用の実態や、過去の経過をベースにして決めているのが実状である。

他市の建ぺい率の状況は、第一種住居専用地域として市街化区域の中で指定されている割合は、市街化が進んでいる十市の平均が六〇％となっている。当市は市街化区域内の第一種住居専用地域が五六％で、建ぺい率三〇％の十市平均が五八％、当市は五四％となっている。

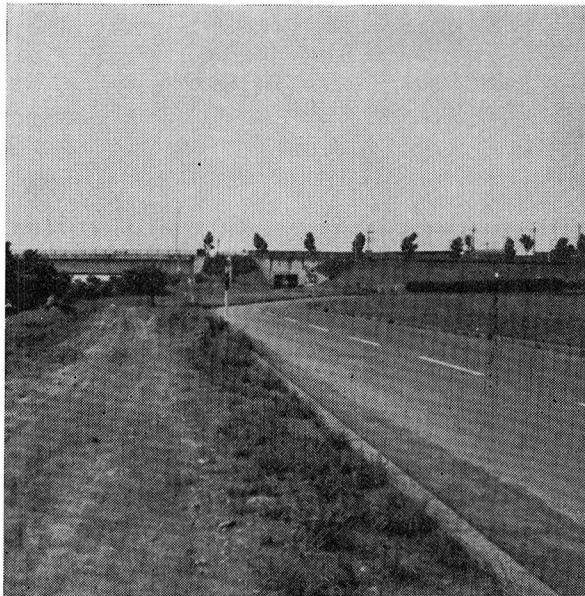
広域避難場所

多摩川沿いでも安全か

質問 地域防災計画中の広域避難場所として全部が多摩川沿いの公園に集中しており、豪雨や小河内ダムの決壊等を考えると、かえって危険な場所になると思うがどうか。また防災倉庫の現況についても聞きたい。

市長 災害時の食糧や飲料水をはじめ通信施設、備蓄庫等の整備を進めており、また市民の協力により各地区の自主防災組織も軌道に乗り充実を図っている。

市民部長 大地震の発生で考えられることは火災発生であり、生命等を危険から守るため公園や運動場等を一時避難場所として、市が二十カ所指定した



広域避難場所となっている多摩川沿い

が、広域避難場所は面積が十平方メートル以上の空地を都が指定することになっており、当市には段の上方にはこうした場所がなく多摩川周辺となっている。

小河内ダムはアーチ式になっているので、絶対大丈夫であるということである。また、防災倉庫は各分団等に六カ所設けているが、今年度から各町会単位に備蓄庫を設ける考えである。

旧態依然の字名

地名変更できないか

質問 当市では区画整理の完了にあわせて地番も整理されたが、その他の地域は旧態依然の大字がついたままであり、そうした地域の地名変更はできないのか。

市長 区画整理によって地番もわかりやすくなっているが、以前にもそうした御質問があった住所表示板や案内板を昭和五十八年度から設置してきた。地番問題は時期をみて検討したいと思う。

助役 区画整理の済んでいない熊川地区も調査段階であり、進行状況をみて今後検討していきたい。

25日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会実行運動
26日 全国市議会議長会基地協議会実行運動
31日 福生市防災訓練

9月

2日 第三回定例会（第一日目）
3日 議会運営委員会
3日 第三回定例会（第二日目）
4日 建設委員会
5日 厚生委員会
5日 総務委員会
6日 全国市議会議長会基地協議会基地対策関係懇談会
10日 議会運営委員会
12日 第三回定例会（第三日目）
13日 東京都市議会議長会協議会
26日 建設委員会
厚生委員会



会館の補助金

見直す考えは

質問 町会の会館建設費・修繕費等の補助金は、五十三年に五十万円以上から七十万円以上に対象額が引き上げられ、そのためまだ十分使える状態でも無理に修理するようなことにもなり、貴重な財源の無駄使いともなるので引き下げたらどうか。

修繕費は五百万円までとなっているが、増改築はどうなっているのか。また、会館の敷地が借地の所もあるので契約更新時に市の名義にし、運営は町会に任せる方法はとれないものか。

市長 本年度から修繕費や外溝工事費も補助対象とする内容整備をした。

助役 市の名義にすることに ついては、会館の形態や地主との契約内容も異なっており、複雑な権利関係もあるようなので調査研究してみたい。

更新料も二十年程度経過すると発生すると思うが、現行規則の中で可能かどうか検討してみたい。

市民部長 交付規則からすると増改築や外溝工事等を含めて二千五百万円以内、修繕費は七十万円以上の場合に五百万円まで補助するという事になっている。借地となっている会館数は三十五町会中、十九町会となっている。

なったらどうなるか想像すらできない。

そこで隔年でも結構であるので同時期に夜間訓練を実施したらどうか。

質問 毎年防災の日にあたって訓練が行われ、市民も関心を深めていることは結構なことと思う。天災は日や時を選ばずに突然くるわけで、ましてや真夜中に大地震が起き、停電にでも

市長 先般の防災訓練の際にも自主防災関係の方々が、避難誘導の先頭になって活躍していただいたわけだが、災害は必ずしも日曜日とは限らず平日や夜間の場合もあり、自主防災組織や消防署等の関係機関と十分協議してみたいと思っている。

現況調査の充実で

課税の適正を

質問 市役所の事務の手違いから、他人の固定資産税を三十年間も納めていたという例がある。確かめもせず納めていた市民側にも責任があると思うが、市役所を信じていた結果である。

法に基づいて五年分は返納されたようだが、こうした例が他にもあるのではないか。事務の電算化に伴う取り組み方についても聞きたい。

市長 固定資産税の課税客体把握は、現地調査をし登記簿書によって行っている。

指摘された問題については、原因調査をするともに、今後の事務処理についても万全を期するよう指導していきたい。

第3回 定例会を傍聴された

市民の方々

(敬称略)

小林 登	赤星 武光	瀬谷 正夫	東浦 春浪
森田 明夫	末次 性男	唐鎌 照雄	塩野鉄之助
内田 貞一	尾上 武市	森田 義信	細谷 正治
秋山 武三	設楽 清一	須釜 亮次	鈴木 定雄
田尾 勝繁	中根 正男	白井 二郎	

博物館建設のため

調査研究を

質問 行革審の答申でも、横田基地によるマイナス面を逆に生かし、基地を生かした特色あるまちづくりのため、航空ショーや飛行機展示館等を建設し、観光資源開発が必要であると思われている。

用地の問題もあると思うが、

将来に向けて飛行機公園なり飛行機博物館建設の調査研究委員会設置について伺いたい。

市長 都市公園は多目的広場として利用されており、実物の飛行機を展示することは、面的にも管理上からも困難な面が考えられるが、調査研究委員会をつくり内部的に検討したいと思う。

基地の民間機利用

その後の進展は

質問 前回、横田基地への民間機乗り入れについて、市の活性化を図るためにも、米軍関係機関との折衝や広域的な面を含めて取り組みたいとの答弁であったが、その後の進展を聞きたい。

市長 大変大きな問題であるが、特に西多摩地域と他の地域を結ぶ交通運輸は単に道路や鉄道のみでなく、将来は飛行機やヘリコプター等の空路になると思う。それは単に当市だけの問題ではなく、広域的に検討する意味から機運を醸成する必要があると考え、西多摩地域広域行政圏協議会に話を出しているところである。

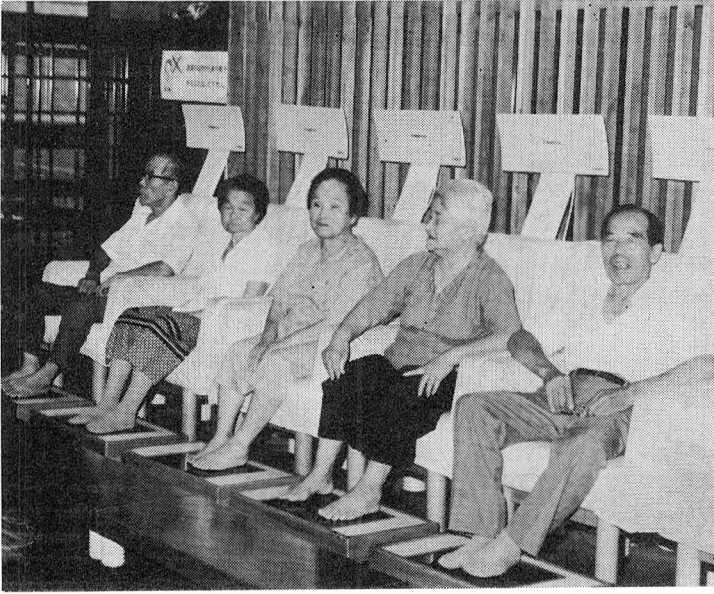


他市にも誇れる

総合福祉センターの建設を

質問 過去においても何回か質問しているが、当市としても時代に対応し、さらに慶弔の場として市民が公平に利用できる

施設で、他市にも誇りがもてる総合福祉センターを建設したらどうか。
市長 御指摘の点について今



福社会館でくつろぐお年寄り

後、調査研究し用地確保等については早期に取り組んでいきたいと思う。

福祉部長 総合福祉センター建設の際、慶弔の場については検討委員会の中で検討されると思うが、計画規模の考え方として現施設の福社会館が約二千七百平方メートルであり、用地は最低六千平方メートル、建物としては三千平方メートル程度が理想とされている。

防衛補助事業としての

駐車場の設置は

質問 公営駐車場の設置は急務ではあるが、防衛補助金を仰ぐにはそのメニューはなく、補助対象枠の拡大以外にないという答弁であったが、福生駅周辺や市民会館周辺の駐車場設置は、あくまでも防衛補助事業として実施する考えなのか。

市長 福生駅周辺の駐車場設置は、商業活性化を図る上で重要な施設であることは十分承知している。用地問題と合わせ、基地周辺整備法の補助金を仰ぐには、メニューの拡大を図ることが必要不可欠であるが、国も緊縮財政が続く、それも望める

状態ではない。しかし議会側のお力添えを願い、一層努力していきたい。

助役 市民会館周辺の地下駐車場関係であるが、地形的に可能かどうか、八高線の関係等技術的な問題、さらに維持管理の問題もあるので、そうした点を含めて検討していきたい。

企画財政部長 西多摩地域広域行政圏の中に、福生駅西口や牛浜駅周辺の駐車場設置について含まれているが、国の補助や起債等を除いた金額に対して都の交付金がもたらえるようになっていく。防衛補助とかその他の国庫補助になるかは、今後検討していくことになる。

緊急時の通報

ペンダント方式採用は

質問 最近、また一人暮らしのお年寄りが亡くなり、何日もたつてわかったというニュースがあったが、こうした緊急時に隣人に通報できるペンダント方式を早急に採用すべきだと思ふ。その後の進展を伺いたい。

市長 この制度の大切なことは、近隣の緊急通報協力員を中

心とした地域の協力体制づくりと、対象者の実態把握であり現在、その調査が終わったところである。

社会福祉協議会においても福祉活動推進事業として、市内の三区画をモデル地域に指定し、福祉活動の検討をしているので試験的にお願ひする方法もあるが、調査結果をみて設置について考えたいと思う。

福祉部長 社会福祉協議会において、地区活動のモデル地区を指定し調査を行っており、緊急通報協力員の設定ができれば準備に取りかかりたいと思う。

私設老人ホームと

松楓園との関係は

質問 民間の特別養護老人ホームが来年開設されると聞かすが、高齢者のためには結構なことである。

市長 今後、市の老人対策にどう生かしていくのか。ショートステイ事業等、お願ひしている松楓園との関係と、市長の老人福祉に対する基本的な考え方を聞きたい。

市長 高齢化の進行は当市でも例外ではなく、福祉法人による老人ホームができることは結

構なことである。今まで遠方の施設にお願いしていたことからすると、家族の方や緊急時の入所も可能となり、さらにボランティア活動等の拠点になると思う。

現在、秋川市にある松楓園に

老人医療費に対し

基金設置の考えは

質問 わが国の総人口に占める高齢者の割合は年ごとに高くなり、有病率も二人に一人は高血圧症等を患っているというこ

とである。生活費は約五一％が年金生活者で、ほとんどが医療費にかかってしまい老後の生活に大きな不安となっている。

対処しており、他市の状況を見つつ当市もやっていきたいと思う。

福祉部長 十年後には高齢者が一三％程度となり、市内に老人ホームが設置されても、今まで通り松楓園を利用していきたいと思う。

政府は老人医療費の自己負担分を大幅に引き上げようとしているが、こうした高齢者医療費の減免をするための基金を設ける考えはないか。

市長 老人医療費の患者負担の引き上げの政府原案は、先の国会で廃案となり、再提出される見込みである。この原案が高齢化社会の中で適正か否かをめぐって十分協議されると思うので、今後その動向を見守りたいと思う。

また、基金についての考えはない。

助役 国会において老人医療費の改正があった場合には、その方向で対処していきたい。

横田基地のカーニバル

曲技飛行にどう対処

質問 戦後四十一年が経過し平和とは何かを考えると、福生市民にとって基地があるため

に日々平和を脅かされた生活をしていくと思う。

先日の横田基地のカーニバルの中で、以前に浜松基地で事故を起こしたブルーインパルスの曲技飛行があり、市内に騒音をまき散らし市民に多大の苦痛をもたらしたが、市長はどう対処されたのか。

平和とは、基地がなく戦争に巻き込まれる不安のない生活を送ることが真の平和と思う。その点の見解を聞きたい。

市長 例年カーニバルが日米友好祭として、年々盛大に行われている。

ブルーインパルスのアクロバット飛行があり、この中止要請があった旨、防衛施設庁に連絡した。しかし多くの人々が期待もしており、容認せざるを得ないと判断しているが飛行にあたり安全確認を強く要請した。

基地の存在についてはない方が望ましいが、国策上の問題であり、存在している以上やむを得ないと思う。

その代償として国に予算要求をしており、一層努力していきたい。

平和の考え方ですが、日本の安全は日本を守るのが原則であるが、自衛隊の他に米軍が駐留しており、日本に平和がもたらされているものと思う。

滑走路の工事

大型飛行機の飛来準備か

質問 横田基地の滑走路を二カ月にわたって工事をするという話を聞いたが、この工事で新たに大型飛行機が来ることも考えられる。工事の内容について伺いたい。

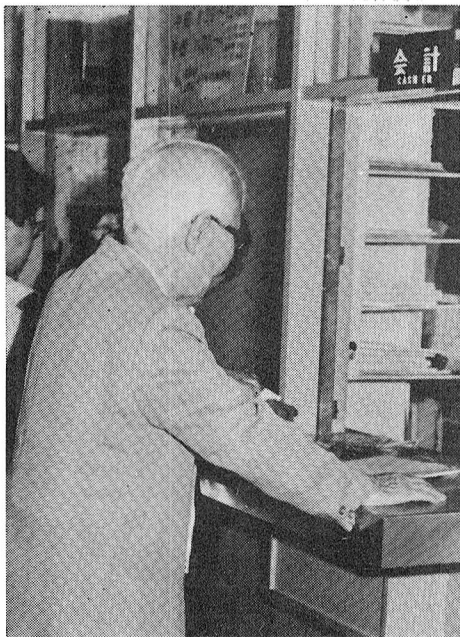
市長 八月に防衛施設庁より連絡を受けたが、滑走路を建設して三十五年が過ぎ老朽化したので、補修工事を米軍負担で行うということであった。

工事期間は九月十五日から二カ月間で、この間の大型機の飛行は中止となる。工事車輛は多くて三千台程度で、十七番ゲートを使うということであったので、事故防止に万全を期すよう要請した。

今回の工事は補修が目的であり、新しい態様の变化はないということである。

企画財政部長

工事は三期に分けて実施するようで、一期は滑走路の中央部約五百八十メートル、二期は北側部分の約千メートル、三期が南側部分の約九百七十メートルで、工事の方法は路床を合せ約六十五センチ



診察に訪れた

お年寄り

あるうち上層部の約三十五センチを、コンクリート舗装の路盤として打ちかえるということである。

工事車輛は、資材の搬入や養生材の搬出に二千五百台から三千台程度で、主に武蔵村山市側の十七番ゲートを使用し、場合によれば十八番や十二番ゲートを使用するようである。工事期間中の大型機の離着陸は中止することである。

予防接種状況調査

プライバシーが守れるか

質問 健康センターから、各種予防接種等について非常に細かなアンケートが乳幼児のいる家庭に配布され、その後の新聞報道でコンピュータに入力するためとわかったが、配布された親はプライバシーの侵害にならないものかと心配している。

このアンケートは、どういう考えで行ったのか伺いたい。

市長 予防接種等は、市の広報やお知らせでPRしているものの、周知されにくい面もあるため、コンピュータを導入して迅速かつ正確な方法で個人通知ができるよう考え、そのため正確なデータを入力する必要から

各保護者の方へ予防接種状況調査をお願いした。調査は、母子健康手帳を参考に予防接種の年月日のみを記入していただいた。

本来なら本庁舎のコンピュータとオンライン化するのが望ましいが、健康センター業務のプライバシー保護ということで、パーソナルコンピュータを導入し、十分プライバシー保護の配慮をしたところである。

曲技飛行

安全確保は万全か

質問 ブルースは、戦闘技術を研究開発する飛行隊であり、この飛行をみればその国の空軍技術がわかるともいわれ、非常に危険である。

カーニバルに多くの人がくるので、アクロバット飛行の中止の申し入れはしないということだが、大事なことは騒音の被害にあうのは福生市民であるということである。多くの人は福生市民なのか、それとも近隣から見に来る人なのか。

市長 毎年日米友好祭が開かれ、ショーの一環としたブルーインパルスの曲技飛行は、今後

も行われると思われ容認せざるを得ないと判断している。しかし極めて危険度の高い飛行は避ける等、安全確保には万

都立保育園の移管

新たな条件とは

質問 都立保育園の市移管について、都から新たな条件と意見が求められて来たとの新聞報道されたが、当市にはどのような形で働きかけがあったのか伺いたい。

市長 五十六年十一月、関係

全を期するよう要請をした。ショーには多くの市民を初め、各地から十数万人が見学に来たと聞いている。

市町村に都立保育園移管条件が示され、当時議会側でも反対の意見書を議決した。その後五十九年二月に都知事から移管の要請があったが、各市町村では公立公営での受け入れはできないとの結論に達し、六十一年六月



子供達のためにもよい環境を

に改めて以前の条件を変更した内容で都知事から要請があったわけである。

今回の条件は移管後、公設民営となるもので職員も受けなくてよいということになった。そこで近隣二市一町で協議した結果、都と折衝をする方向で一致し、協議のテーブルに着いたというのが経過である。

移管する場合は、保育行政の低下を招かないよう配慮しなければならぬと思うが、今後とも議会側とも相談して取り組んでいきたい。

助役 協議のテーブルに着くということは、話し合いに応ずるということである。今までは公設公営であったが、今回は公設民営と方針が変わったので、その条件に沿って折衝を始めた。

行革大綱の作成には

少数意見の尊重を

質問 今年七月に行政改革審議会の答申がなされ、これに基づき行革推進本部が設けられて、行革大綱ができると思うが、この大綱の中に答申内容をどう盛り込む考えか。また少数意見の尊重について、どう考えてい

るのか。

市長 審議会は各委員の意見を尊重し、取りまとめに努力されて答申されたものと思う。少数意見の細かい内容は聞いていないが、すべての意見が一致した上での答申が望ましい。しかし各委員の立場や考え方も異なり、必ずや全員一致でなくても大綱策定にあたっては、答申内容を尊重していかなければならないと思う。

横田基地の

状況は

質問 十年前と比べて飛行回数減少してきている。数は少しづつ減少してきたことは、大型化して一回に運ぶ量が多くなったものと考えられる。昨年の五、六、七ヶ月と比べてどうなったか伺いたい。
市民部長 五月から七月まで

意見書

少額貯蓄非課税制度の 現行維持に関する意見書

少額貯蓄非課税制度は、制度創設以来一貫して非課税であり、国民の間に貯蓄手段として広く定着し、国民生活の安定とともに公共投資の財源として、わが国の経済発展に重要な役割を果たしているものである。しかるに政府税制調査会においては、郵便貯金、マル優等の少額貯蓄非課税制度の廃止を検討されているが、このことは国民が望んでいる方向と相反するものである。よって、当市議会は、政府に対して少額貯蓄非課税制度を現行どおり維持されるよう強く要望するものである。

(この意見書は、内閣総理大臣、大蔵大臣、郵政大臣に送付されています。)

の離着陸数は、今年五月が千三百五十三回で前年より九十六回の増、六月は千二百七十三回で前年より百回の増、七月は千七百七十回で前年より二百二十一回減となっている。

個人情報保護

条例化の考えは

質問 住民票等の電算化が稼働されたが、図書館の電算化の際、公務員には守秘義務が法で定められており、プライバシー保護条例や規則は必要ないということであった。

今回は個人情報の保護規則ができたが、これを条例化すべきだと思いがどうか。また、電算機を扱う職員は安全面や衛生面はどう考えているか。

市長 事務の電算化は徐々に始まっており、個人情報の保護については規則を設けて保護に努めている。個人情報は役所の事務全般にわたっており、今後の電算化の進み具合により、関係団体の動向も見て条例化等について検討していきたい。

職員の安全衛生面は、国の基準で対応しているが、当市は同一人が連続して操作しておらず問題はないと思う。

陳情
請願

採択

○陳情第六十一—四号 少額貯蓄非課税制度の現行維持を求め陳情書
熊川一六一

斉藤 一三氏 他二人
昭61・8・25提出

不採択

○陳情第六十一—三号 「非核・平和福生市宣言」制定に関する陳情書
北田園二—二四—一〇

長田 紀彌子氏

○陳情第六十一—五号 福生市非核都市宣言を求める陳情書
牛浜九一
中村 進氏
昭61・8・26提出

継続

○陳情第六十一—五号 母子保健法改定に関する陳情書
千代田区丸ノ内三—六一—一

竹下 一雄氏

昭60・12・4提出

○陳情第六十一—六号 老人保健制度等の改善に関する陳情書
福生一二九八
内山 大氏

昭61・8・27提出

○陳情第六十一—七号 商業地域の住宅化抑止に関する陳情書
福生七八〇
須釜 亮次氏 他六人
昭61・8・29提出

○陳情第六十一—八号 東京都立商科短期大学商学科二部の昭島校舎存置に関する陳情書
八王子市片倉町三四〇—二
岡尾 光彦氏

昭61・8・29提出

○陳情第六十一—九号 ワンルームマンション建設反対に関する陳情書
本町九四
田村 武寿氏 他一人
昭61・8・30提出

○請願第六十一—一号 合成洗剤をなくし安全な石けんの普及を求める請願書
青梅市千ヶ瀬町四—五七五
室川 定義氏
昭61・9・4提出

○陳情第六十一—十号 マンション建設に関する陳情書
武蔵野台二—一四—二三
原島 昭次 他七十一人
昭61・9・6提出